

討論

◆平成30年度吉川市一般会計予算に対する修正案

平成30年度一般会計予算案から「市民交流センターおあしす」の改修費8703万8000円を削除する修正案が文教福祉委員会に提出され、賛成多数により可決しました。その後、本会議での採決も賛成多数で可決となりました。

この修正案に対する討論の要約は次のとおりです。

反対 未来会議よしかわ 戸田 馨

「市民交流センターおあしす改修事業」について、責任をもち議決に臨み、賛成の立場を示してきた。大前提として「おあしす改修事業」に対し、市は様々な広聴の機会を設定し、市民の声を直接聞いてきていると認識している。修正案の提案理由である「市民の声を十分に反映できていない」「市民や関係団体の理解を深めてからの事業化」という主張は、これまで自らが行ってきた議決に対し整合性にかけるものである。そして修正案が一体「誰」に対して「幸福」をもたらすのか私達には見えない。以上のことから反対とする。

賛成 市民の会・無所属 岩田 京子

おあしすは市民参画の拠点として、市民と共に育まれてきた。私達は9月議会で設計に賛成したが、福祉の視点の課題も多く、10月に市長に対し①市民メンバーの「(仮称)おあしす検討委員会」の設置②関係団体との丁寧な協議を求め、その上での工事着工を要望した。

その後、全戸配布で意見募集がされたが、一方的な市の見解と「概ね賛成」の判断がされた。他様な事を鑑み「工事中の段階ではない」と判断した。当事業は深みのある市民参画により、市民との十分な共通認識と信頼の醸成が大前提である。

賛成 日本共産党吉川市議員団 雪田 きよみ

市は昨年12月末から今年1月にかけて、おあしす改修に対する意見を募集した。29件の意見が寄せられ、市は概ね賛成と認識し、予算計上に繋がった。

しかし意見の中には重要な指摘も多い。おあしす運営協議会を開催し、検討すべき内容だ。こうした手続きを怠り予算計上する姿勢からは、おあしす改修が執行側の意向で進められようとしている印象を拭うことはできない。

寄せられた意見について、まずしっかりと市民と共に話し合い、みんなが納得できる方向を模索するべきである。

◆(修正部分を除いた)平成30年度吉川市一般会計予算修正部分を除く平成30年度一般会計予算は、賛成多数で可決となりました。

この一般会計予算に対する討論の要約は次のとおりです。

反対 日本共産党吉川市議員団 遠藤 義法

市が保育に責任を負わず、民間頼みの姿勢を取り待機児童解消に至っていない。第二保育所の改築を実施、量と質の確保を図るべきである。昨年12月からタクシーチケット助成制度が試行、この点は評価する。しかし制度は限定的であり、すべての高齢者の要望に応える事業となっていない。昨年9月に全会派から提出された小中学校普通教室へのエアコン設置が一部のみで他の計画が示されていない。教育環境が不均衡。市長の政治姿勢が問題。市民参画といながら団体や市民の声が事業に反映されないまま進められている。

賛成 公明党吉川市議員団 互 金次郎

特に評価した事業を述べます。①中学校建設は、地域開放に工夫、防災拠点としての整備、周辺環境配慮が具現化されました。

②避難行動要支援者や自治会長、民生委員に対し「電話による一斉情報伝達システム」導入は、災害弱者に安心をもたらす

実践的な取り組みです。③保育士確保策としての「宿舎借り上げ支援」「奨学金返済に対する補助」の事業実施は、保育士不足解消につながるものと期待します。

④文化芸術振興条例の策定は、じっくり、前向きに検討したいとの答弁は、積極的な見解です。

賛成 未来会議よしかわ 稲葉 剛治

「価値ある未来をともし」を合言葉とし、市民からの要望やご意見を丁寧聞きながら、スピード感を持ち政策決定を行い、吉川市の三大事業である新庁舎建設、吉川美南駅東口開発、新中学校建設という長年の課題が解決。この結果はこれからの吉川市のまちづくりが今まで以上に、市民の皆さまと共に進めていくという事の表れだということだと捉えている。「市民の幸福感を追求する」、「市民との共動によるまちづくりを推進する」ことを柱に、市民の皆さまの心に多くの花が咲くような吉川市になっていく事を期待する。



吉川中学校完成予想図

市長提出議案

平成30年度一般会計
こんな事業を実施します

防災対策事業

1億8301万円

地域防災計画の改定や耐震性貯水槽の整備などを行います。



中学校建設事業

11億3789万
6000円

平成32年開校予定の吉川中学校の施設整備工事などを行います。

◆吉川市における幸福感向上を目指したまちづくりのための産業振興基本条例の制定
産業振興施策を総合的に推進し吉川市の発展を図り、事業者、勤労者及び市民の幸福実感向上を目指したまちづくりを推進します。

特別会計など 新年度予算決まる

6つの特別会計と水道事業会計の平成30年度予算は差表の通り決まりました。

会計別	予算額(千円)	前年度比(%)
国民健康保険	6,878,206	△18.5
下水道事業	1,247,777	△7.4
農業集落排水事業	29,647	△5.1
介護保険	3,745,031	10.4
後期高齢者医療	640,588	14.6
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業	1,363,674	78.5
合計	13,904,923	△4.3

●水道事業会計	
収益的収入及び支出	予算額(千円)
水道事業収益	1,553,425
水道事業費用	1,531,714

●特別会計	
資本的収入及び支出*注	予算額(千円)
資本的収入	204,192
資本的支出	793,907

注：水道事業会計において資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。

人事案件

◆副市長

平成30年3月31日に任期満了となる榎葉祐司氏が、再度選任されました。